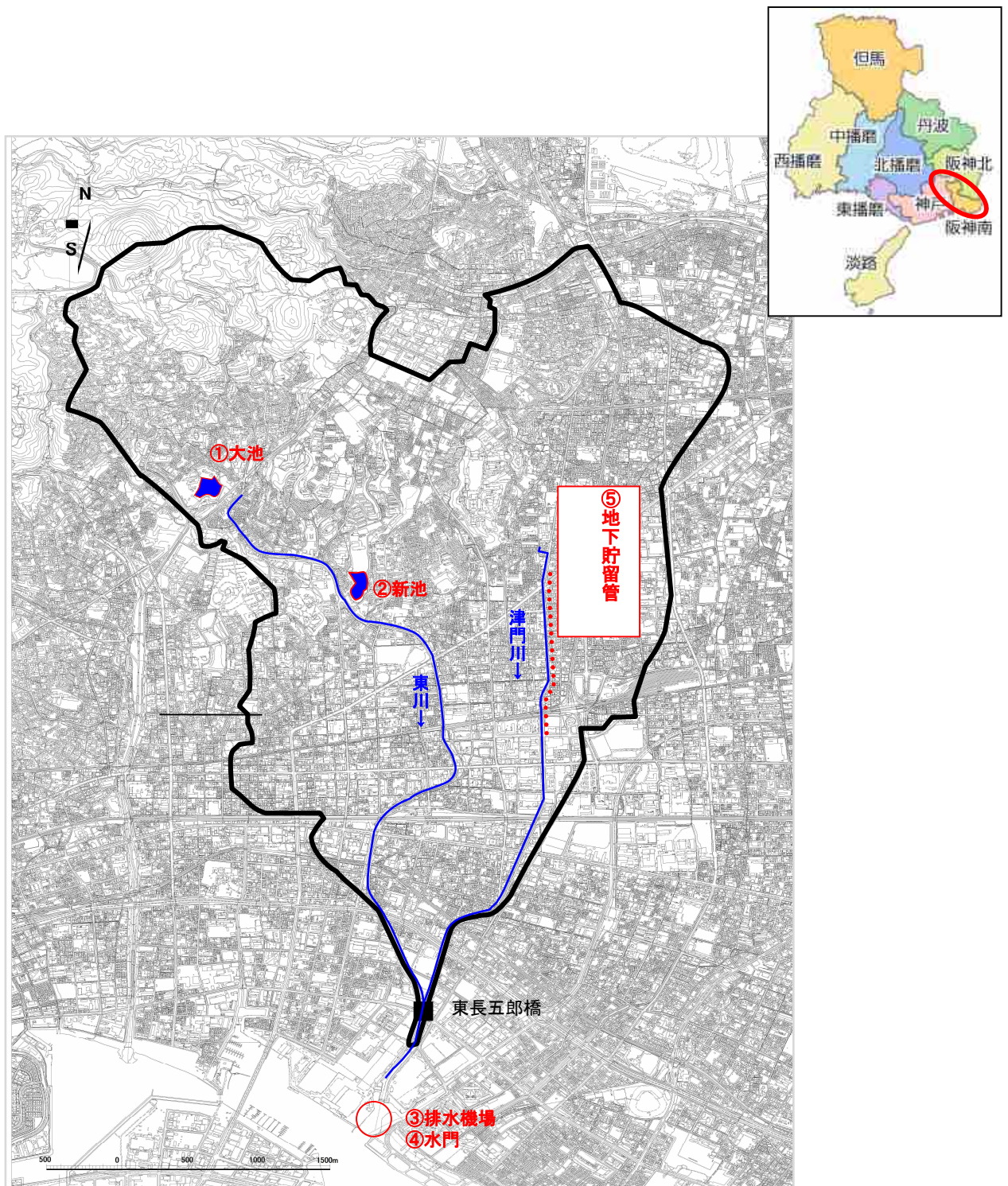


投資事業評価調書（継続：再評価〔第1回〕）

部課室名	県土整備部土木局 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 勝野 真 (企画整備班主幹 森野 正之)	内線	4408 (4437)
事業種目	河川事業	水系名	東川水系		
事業目的					
東川水系において、平成28(2016)年5月に策定された河川整備計画に基づく洪水調節施設の整備、高潮・津波対策および老朽化対策を実施することにより、治水安全度を向上させ、地域住民の安全・安心を確保する。					
東川水系河川整備計画における「計画的に整備を進める区間」					
本川					
	区間	延長	整備目標	事業の状況	前回評価年度
①	東川 大池 (オフィスの改築)	1箇所	20年に1回程度の降雨で発生する洪水から人命、資産等を守る	未事業化	—
②	東川 新池 (オフィスの改築)	1箇所		未事業化	—
③	東川 排水機場 (排水機場の改築)	1箇所	高潮時の浸水被害の防止及び老朽化対策	事業中	R1(2019) 継続評価 (新川水系)
④	東川 水門 (水門の耐震補強)	1箇所	津波時の浸水被害の防止	完了	評価対象外
支川					
	区間	延長	整備目標	事業の状況	前回評価年度
⑤	津門川 地下貯留管	1.7km	20年に1回程度の降雨で発生する洪水から人命、資産等を守る	事業中	H28(2016) 新規評価

# 東川水系河川整備計画 全体位置図

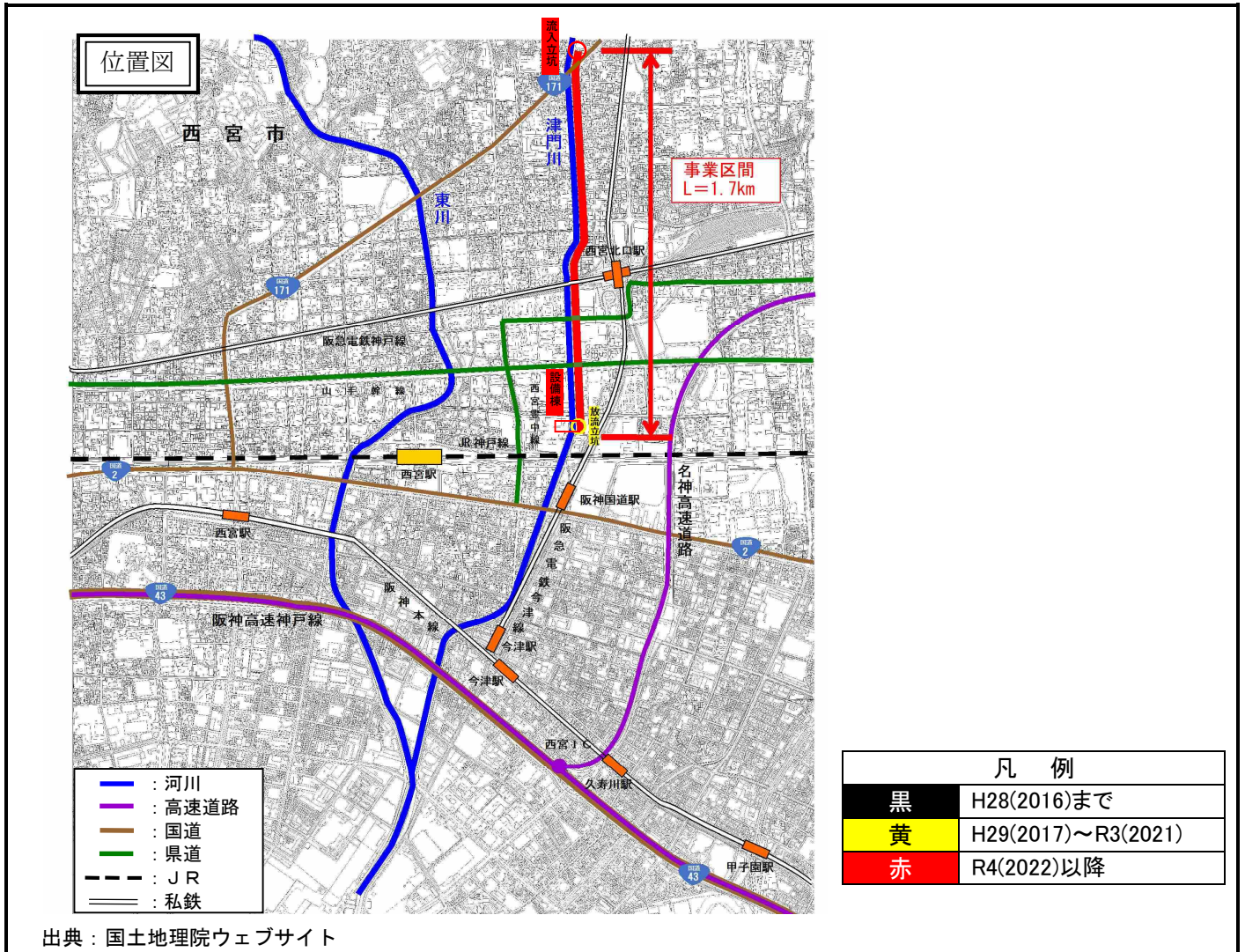


出典：国土地理院ウェブサイト

事業概要および進捗状況				今回評価内容 ( ): 前回評価時点			
工区	事業区間	整備内容		全体事業費	進捗率	残事業費	完成予定年度
津門川 地下貯留管	西宮市 じんぎかん まるはし 神祇官町～丸橋町	【地下貯留管】 内径 4.9m 延長 1.7km	事業費	96億円 (73億円)	26% (0%)	71億円 (73億円)	R5 (R5)
		【流入・放流立坑】 各1箇所  【設備棟】 1箇所 (放流立坑側)  総貯留量 34,000m <sup>3</sup>	内用補	0.4億円 (0.7億円)	50% (0%)	0.2億円 (0.7億円)	
事業を取り巻く 社会経済情勢等 の変化	気候変動の影響により、近年、豪雨災害が頻発化・激甚化していることから、河川改修に対する地元の要望は強まっている。						
	【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 ・用地交渉の結果、流入立坑および放流立坑の位置が当初想定した箇所から変更になったことによる貯留管延長の延伸 (0.3km増) および延伸に伴う全体事業費の増額 (23億円)						
進捗状況	R2年度に土木工事 (地下貯留管、流入・放流立坑) の契約を行い、R3年度から放流立坑に着手						
評価視点	評価結果の説明						
審査会意見及び対応方針 (H28年度新規事業)	【審査会意見】 意見なし			【対応方針】			
(1) 必要性	<p>① 現況の流下能力は55m<sup>3</sup>/sであり、計画流量62m<sup>3</sup>/s (計画基準点：東長五郎橋) が確保されていないことから、貯留分として7m<sup>3</sup>/sを整備する。</p> <p>② 近年の豪雨等により浸水被害を繰り返している (西宮市南部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成11年6月 (梅雨前線) : 床上5戸、床下7戸</li> <li>平成11年9月 (集中豪雨) : 床上205戸、床下616戸、浸水面積176ha (平成11年6月との合計)</li> <li>平成25年8月 (集中豪雨) : 床上17戸、床下68戸、浸水面積28ha</li> </ul> <p>③ 当該河川流域は、高度に都市化した西宮市の中でも商業施設や鉄道・国道等の重要交通網が集中している地域であることから、治水安全度を向上させ、地域住民が安全で安心して生活できる環境を早期に確保する必要がある。</p>						
(2) 有効性 ・ 効率性  (事業執行環境)	<p>① 費用便益比B/C=1.55 (河川整備計画の内、事業中である地下貯留管の費用便益比)</p> <p>② 将来計画である大阪湾に至る地下河川 (約3.8km) のうち、上流部 (1.7km) を先行整備し、地下貯留管として活用する。</p> <p>③ 地下構造物が大半となるため、用地買収・物件補償が少なくなり、早期の事業完了が可能。</p>						
(3) 環境適合性	現状の津門川の地下に貯留管を設置することから、環境への負荷は小さい。						
(4) 優先性	<p>① 津門川周辺は、都市化した市街地であるにもかかわらず河川整備の水準が低いいため、治水安全度向上の優先性が高く、早期完了が必要。</p> <p>② 西宮市は、下水道整備水準を現行の1/6から1/10に引き上げるため、平成28年度から雨水貯留管の整備に着手している。</p>						
の再 結果 評価	継続	左の理由	事業の必要性は、前回評価時と変わっておらず、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するため、事業を継続する必要がある。				



# 津門川 整備概要図

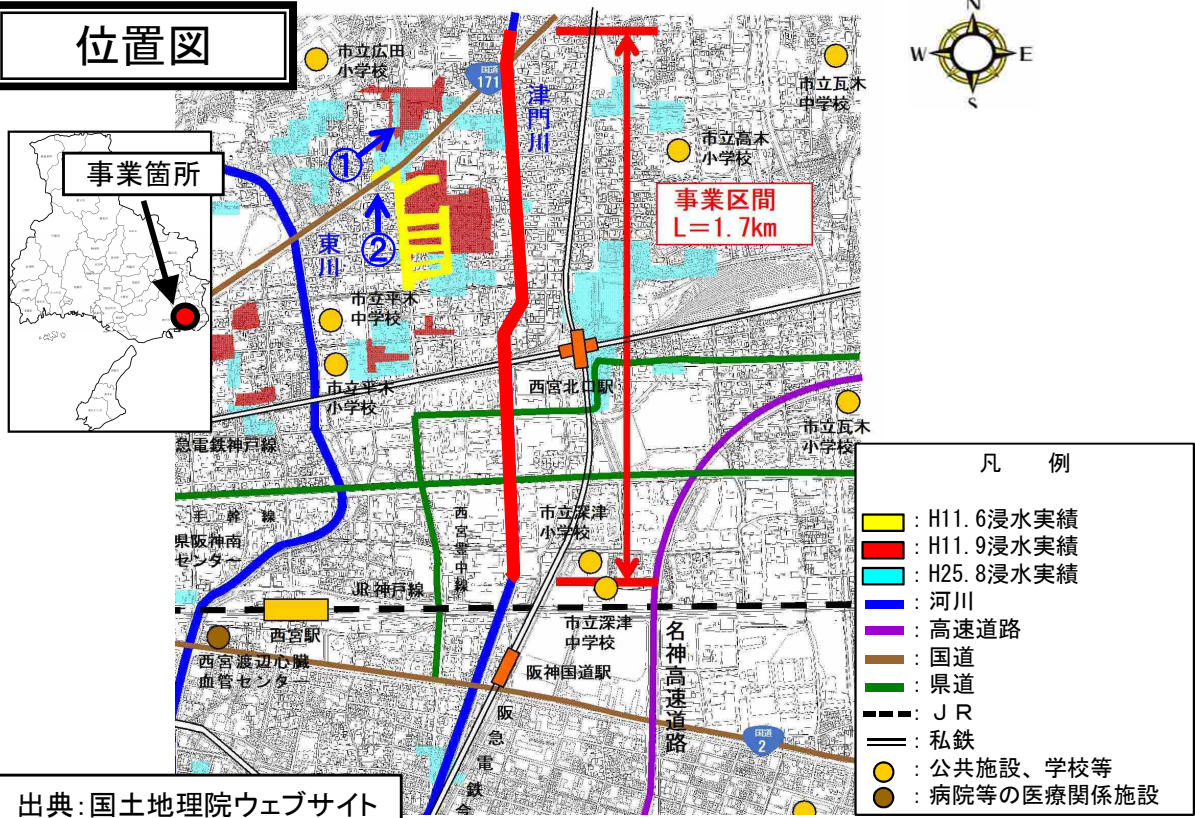


工区	河川整備計画全体 H28(2016) ~ R5(2023)	前回評価まで	前回評価から R3(2021)まで	今後 R4(2022) ~ R5(2023)
津門川 地下貯留管	<b>【事業費=96億円】</b> ・整備延長 1.7km ・整備概要： 地下貯留管、流入・放流立坑、 設備棟（放流立坑側）	—	<b>【事業費=49億円】</b> 放流立坑着手	<b>【事業費=47億円】</b> 地下貯留管 1.7km 流入立坑 1箇所 放流立坑 1箇所 設備棟 1箇所
		流下能力（現状） 東長五郎橋 55m <sup>3</sup> /s	流下能力（現状） 東長五郎橋 55m <sup>3</sup> /s	流下能力確保 東長五郎橋 55m <sup>3</sup> /s 地下貯留管 7m <sup>3</sup> /s



# 河川事業 二級河川東川水系津門川 (継続:再評価〔第1回〕)

## 位置図



## 目的

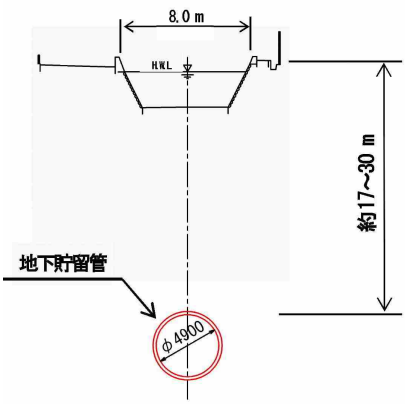
河川整備計画(H28.5)に基づく治水安全度の向上  
20年に1回程度の降雨で発生する洪水から人命、資産を守る

## 事業概要

事業区間: 西宮市神祇官町<sup>じんぎかんちょう</sup>～丸橋町<sup>まるはしちょう</sup>  
 総事業費: 96億円  
 内用地補償費: 0.4億円  
 事業期間: 平成29(2017)年～令和5(2023)年  
 事業概要: 地下貯留管1.7km  
 放流・流入立坑 各N=1箇所  
 設備棟 1箇所  
 延長: 1.7km  
 費用便益比B/C: 1.55  
 (河川整備計画の内、事業中である地下貯留管の費用便益費)

## 浸水実績

## 横断図



### 浸水実績 (H25.8)



### 浸水実績 (H25.8)





# 事業進捗平面図



# 現況写真

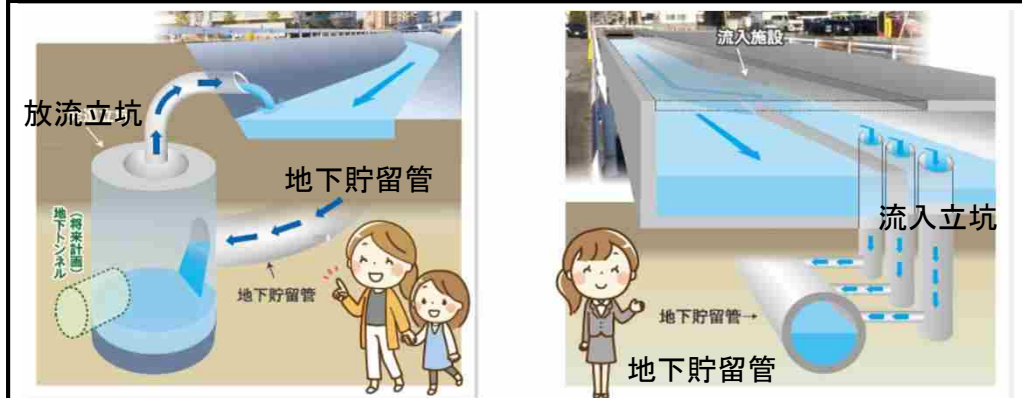
事業中区間 (放流立坑)



事業中区間 (放流立坑)



残事業区間(対策イメージ)



# 工程表

■ : 前回計画  
■ : 実施・計画

	H29	H30	H31 R1	R2	R3	R4	R5
測量・調査・設計	■	■	■				
用地補償		■	■	■		■	
放流立坑			■	■	■		
流入立坑						■	■
地下貯留管				■	■	■	■
設備棟							■

# 事業の有効性・効率性

## (1) 費用対効果

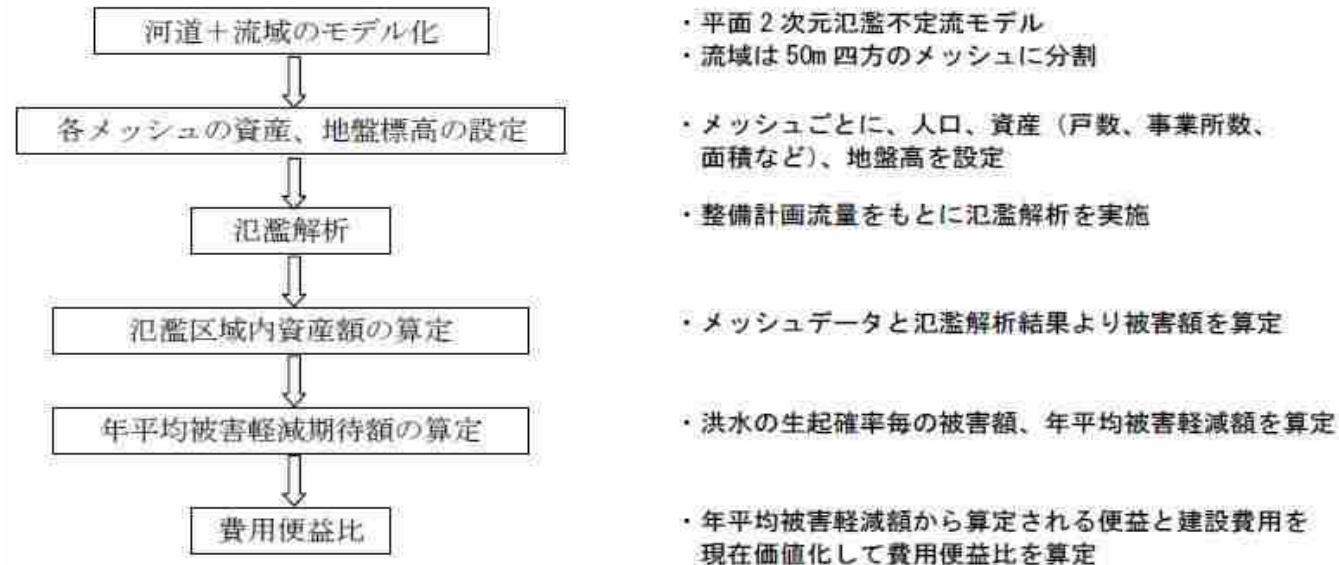
### ① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
治水安全度の向上	浸水被害の軽減 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所償却資産、農業家償却資産等)</li> <li>・農産物被害、公共土木施設等被害、営業停止被害、応急対策費用</li> </ul>

1) 便益 = 「治水事業を実施することによる被害軽減期待額」を現在価値化

$$\text{被害額} = \text{一般資産被害} + \text{農作物被害} + \text{公共土木施設等被害} + \text{営業停止被害} + \text{応急対策費用}$$

2) 費用 = 「建設費 + 維持管理費」を現在価値化



### ② 費用便益比(B/C)算出根拠(百万円)

B(便益)		C(費用)			B/C
便益額	代表的な効果	総費用	事業費	維持管理費	
14,848	浸水面積49ha解消	9,570	8,696	874	1.55

※河川整備計画の内、事業中である地下貯留管の費用便益比



## (2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等
社会経済活動等の安定	人的被害の軽減	○ 浸水区域内人口7,126人、災害時要援護者5,180人を解消
	道路、鉄道等の交通途絶による波及被害の軽減	○ 県道西宮豊中線の途絶解消(交通量12,601台/日)
	医療・社会福祉施設、防災拠点施設、文化施設等の被害の軽減	○ 医療施設7施設、社会福祉施設2施設の浸水被害を解消
	水害廃棄物の発生の軽減	○ 水害廃棄物666t、処理費用1,865万円の解消
魅力ある河川空間の創造	多様な生物の生活環境の保全・再生・創出	— —
	親水空間の整備・景観への配慮	— —

## (3) 地域からの要望状況等

要望状況等	地元自治会及び西宮市から、浸水対策や早期事業完了について、要望が出されている。
-------	-----------------------------------------

## 参考：事業の変遷

昭和55年	： 都市小河川改修事業に着手
平成元年	： 秋雨前線による浸水被害
平成8年	： 都市小河川改修事業完成
平成11年	： 秋雨前線による浸水被害
平成20年	： 東川水系河川整備方針・整備計画策定 (地下貯留管を記載)
平成25年	： 集中豪雨による浸水被害
平成28年	： 整備計画変更 (別事業に津波対策を追記)
	新規事業評価
平成29年	： 事業着手